

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>		精神病理学Ⅰ PsychopathologyⅠ			担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 上尾 真道		
群	健康・スポーツ科目群		分野(分類)	健康・スポーツ科学(発展)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	火3		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
精神疾患は、厳密科学的には生物学的実体として捉えるべきものとされるが、実際は極めて人間的な現象であり、当然ながら罹患者以外をも含む集合的な生活空間の中で輪郭を与えられ、意味を決定されているものである。そうした側面を明らかにするために、講義では、近代精神医学の制度／概念についての歴史的な展開を追いながら、精神疾患を説明するためにどのような知識・学問が動員されてきたか、どのような社会的・文化的条件が働いているのか、思想や芸術への影響をどのように考えられるか、といった問いについて考えていく。医学的に直ちに有用な説明体系を学ぶのではなく、むしろ精神病理に関する知と実践についてのクリティカルな思考を鍛える事を目指す。									
[到達目標]									
・近代の精神医療の歴史についての基本的知識を身につける。 ・精神病理を広く社会・制度・思想・文化との関連から考察できるようになる。									
[授業計画と内容]									
1. 導入：精神疾患と社会 2. 近代精神医学の興り：狂気の医学 3. 大ヒステリー1. 催眠の時代 4. 大ヒステリー2. 暗示と心理療法 5. 変質論と異常者たち 6. 神経症の時代1. フロイト「ヒステリー研究」 7. 神経症の時代2. 強迫神経症と心的葛藤 8. 神経症の時代3. 戦争神経症と自我分裂 9. 精神異常の心理学 異常心理学の発展 10. スキゾフレニー1. 解離というパラダイム 11. スキゾフレニー2. 精神薬理／反精神医学／地域医療 12. 人格障害／境界例 13. DSM-III以後の精神病理 14. 神経科学と人間 15. 総括：現代の狂気									
[履修要件]									
特になし									
[成績評価の方法・観点]									
授業内の小レポート（25点×2回）及び期末のレポート（50点）による。 各レポートは課題に応じた到達目標の達成度に即して評価する。									
----- 精神病理学Ⅰ(2)へ続く ↓ ↓ ↓ -----									

精神病理学Ⅰ(2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業前に前回の講義内容について復習しておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]